専門実践教育訓練明示書

講 座 の 名 称 経営管理研究科・アントレプレナー専攻															
実 施 方 法	通信	スク-	ーリン	グ(す	科目に	より通	宜実	施)							
指定講座番号	1 3	1	0	5	7	-	2	0	2	0	1	1	-	2	
講座の創設年月日	専門実践教 対象講座の	過去の講	座	入講者数(62人) 2025年10月入学者					修了者数(45人) 2025年9月修了者						
平成20 年4月1日	令和	実 績	Į.	,/// , , ,					3333 7 37713 7 1						
訓練期間	練期間 24ヶ月							総	訓練日	寺間				1,53	0時間
1. 教育訓練目標															
	□ 業務独占資格・名称独占資格 ()□ 職業実践専門課程 ()□ キャリア形成促進プログラム ()■ 専門職大学院 (経営管理修士/MBA)														
①取得目標とする資格の名称、目標レベル						□ 職業実践力育成プログラム () □ 情報通信技術関係資格 () □ 第四次産業革命スキル習得講座 () □ 専門職大学、専門職短期大学、専門職学科 ()									
		教育訓練を通じて取得を目指す上記以外の資格等													
②①に係る資格・試験等の実施機関名称 SBI大学院大学															
③当該資格等を取得する 等	経営管理研究科に2年以上在学し、必修科目を含め34単位以上を取得し、研究科委員会の審査、決議を経ること。														
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職程・職務及び習得された技能・知識が活用されておいる業界と活用状況 と は業家、企業経営者、企業幹部、企業の経営企画部門、その他企業を の中核となる職種・職務が該当する。また独立開業、インターネット業 表業界と活用状況															
2. 教育訓練の内容(カリ	キュラム)														
					教	科									
		=	コア			応用			発展			i	<u></u>		1
戦略・マーケティング		4科目(7単位	<u>ነ</u>)	3科目	(4単	位)	4科	目(4単	位)	11科	目(15	単位)		
組織・人的資源		3科目(4単位	ኒ)	2科目(3単位) 1科目(1単位) 6科目(8単位)										
金融•財務		7科目(9単位	ኒ)	4科目	位)	3科目(4単位)			14科目(18単位)					
経営数理·問題解決		3科目(4単位	ኒ)	5科目	(6単	位)	t) 1科目(1単位)			9科目(11単位)				
企業倫理•経営思想		4科目(7単位)			2科目(2単位)						7科目	7科目(11単位)			
グローバル・ビジネス		4科目(4単位)			3科目(3単位) 3科				3科目(5単位) 10科				科目(12単位)		
事業計画演習または、組 習または、修士論文(必何							3科目(12単位)			3科目(12単位)					
合計 25科目(35単位)					19科](23単	(位)	16科	目(29単	(位)	60科目	∃(87萬	单位)		
					時	間									
必修科目(13単位×1単位あたり45時間) 585時間 選択必修科目(4単位×1単位あたり45時間180時間 選択科目(17単位×1単位あたり45時間) 765時間 使用教材															
						以竹									
https://www.sbi-u.ac.jp/curriculum ※使用教材は、上記URLにアクセスしていただくと、科目ごとのシラバスに必読書籍・参考書籍の記載がありますので、ご確認ください。 尚、概ね講義で使用される教材については、教員の用意するレジュメ資料が中心となっております。															
3. 受講者となるため	の要件	(この講り													
①受講するに当たって必要な実務経験等 査で					会人として就業経験が3年以上又は同等の経験があると入学審認められた者で、22歳に達している者。 学卒業又は同等以上の学力があると認められる者。										
(1) 受講者が受講に最低限有しておくべき貧格・ 査で記せば、知識等の内容及びその水準						会人として就業経験が3年以上又は同等の経験があると入学審認められた者で、22歳に達している者。 学卒業又は同等以上の学力があると認められる者。									
トのA						への出席率、質疑応答状況、課題提出状況、小テストの成績、期末テス 成績により把握、測定。 こ代わる事業計画演習または組織変革演習・修士論文等により把握、。									

〔特記事項〕

専門実践教育訓練明示書

教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況 (1)資格取得状況 ① 2025年9月の修了者数 45 ② ①に係る教育訓練の入講者数 56 人 ③ ②のうち目標資格の受験者数 45 受験率(3/2) 80% 人 % ④ ③のうち合格者数 45 合格率(4)/3) 100 人 % ⑤ ①(修了者数)のうち就職者数 ※1 0 人 ⑥ ①(修了者数)のうち在職者数 ※2 45 人 就職・在職率(⑤+⑥/①) 100% %

※1 前年度の修了者のうち、受講開始時に職に就いていなかった者で修了後に就職した者。

この場合、就職したとは、臨時的な仕事に就職した者は含めない。

※2 受講開始時に既に職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある者及び受講開始時に既に職に就いている者で、 修了後に別の職に転職した者。

(2)受講修了者による講座の評価等

(2) 文語形 」 白による	の時度の計画寺			
① 回答者総数		45	人	
	1 正社員	40	人	@ • ±4 # # = 1
② 受講開始時の就業 状況等	2 非正社員、派遣社員	1	人	②A:就業者計
	3 その他の就業(自営業等)	3	人	45人
	4 非就業	1	人	②B:非就業者計
③ 受講開始前と現在 の就業先の変化	1 受講開始時の就業先と現在の就業先は同じ	42	人	③の回答数合計
	2 受講開始時の就業先と現在の就業先(自営業等含む)は異なる(転	3	人	※②Aと同数(又はそれ以下)
	3 受講開始時は就業していたが、現在は就業していない	0	人	45人
	1 正社員	40	人	④A:就業者計
④ 受講後の就業形態	2 非正社員、派遣社員	0	人	4A. 机未有前
4) 文碑後の税未形態	3 その他の就業(自営業等)	5	人	45人
	4 非就業者	0	人	④B:非就業者計
	1 3割以上増加した	1	人]
	2 1割以上3割未満増加した	12	人	
	3 1割未満増加した	11	人	⑤の回答数合計
⑤ 受講後の賃金変化	4 変わらない	19	人	※④Aと同数(又はそれ以下)
	5 1割未満減少した	0		
	6 1割以上3割未満減少した	0	人	
	7 3割以上減少した	0	人	43人
⑥ 講座の受講の効果	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	10	人	
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	1	人	
	3 社内外の評価が高まる	16	人	
	4 早期に転職・再就職できる	1	人	 ⑥の回答数合計
	5 希望の職種・業界に転職・再就職できる	2	人	6の回合数合計
	6 より良い条件(賃金等)で転職・再就職できる	4	人	
	7 趣味・教養に役立つ	8	人	
	8 その他の効果	3	人	
	9 特に効果はない	0	人	45
⑦ 受講開始時に就業 していなかった受講者 の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	1	人	
	2 受講修了後3~6か月以内に就職した	0	人	⑦の回答数合計※②Bと同数(又はそれ以下)
	3 受講修了後6~12か月以内に就職した	0	人	
	4 就職していない	0	人	1
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足	18	人	⑧の回答数合計
	2 おおむね満足	25	人	※①と同数(又はそれ以下)
	3 どちらとも言えない	2	人	45
	4 やや不満	0	人	
	5 大いに不満	0	人	J

(3)受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇 改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価 等)

- 今後、ビジネスだけでなく、人生におけるあらゆる場面で活用できる人間学的な教養を身につけることができた
- る男的な視点を持って物事に取り組む力が養われ、加えて専門的な知識も深めることができ、大変有意義な経験となった。 ・将来独立起業するために必要な能力を習得することができ、自身が行いたい事業の実現に近づけたと感じた。 ・社会人になって業務以外を知る事は少ないですが、大学院に行くことで多くの知識を吸収できた。
- ・オンラインで働きながらも学びやすい環境であった。

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把 (通信制講座の場合)スクーリングの実施場所、時期、期間・回数

授業への出席率、質疑応答状況、課題提出状況、小テストの成績、 期末テストの成績により把握、測定。 卒論に代わる事業計画演習または組織変革演習・修士論文等によ

		専門	実	践	教	育	訓	練	明	示	書		
6. 受講効果の把握方法													
(1)受講認定基準 (6ヶ月ごとの出席 ² 基準)	率•定期試験、	進級試験	等の具化	本的な	1年次 2年次 いるこ 2年次	/後期 /前期 と。且つ /後期	:配当年 :事業計 19単位	次が1年 画演習ま 以上修 目(13隼	次の必 たは組 导してい	修科目: 織変革 ること。	科目を修得していた をすべて修得してい 演習または、修士 必修科目(4単位)	いること。 論文の中間成界	
(2)受講認定基準に のレベル到達度把		票に対する	5技能•∶	知識	毎回の	の授業	における	る出欠り	犬況、小	テスト	、科目ごとの期ま	末テストにより	把握、測定。
(3)修了認定基準 (出席率·修了認定	試験等の具体	的な基準)		科目(4単位)を含め		履修単	位(34	とおり、必修科目 単位)以上を修		
(4)修了認定基準に のレベル到達度把		漂に対する	5技能•∶	知識	績によ	り把扱	星、測定	0			是出状況、小テス 変革演習・修士記		
7. 受講中または修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法													
(1)受講中の者に対 的な助言・指導方法		里解度につ	いての	具体	り、習	熟度、	理解度	について	て毎回	在認を)小テストを行い。 行う。習熟度、理 り助言、指導を彳	Ľ解度が低い 学	けることによ 全生について
(2)受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例)資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)									についてSBIク 型する場合には	「ループが支 は、推薦を行			
8. その他の事項													
指 定 教 育 訓 練 及 び 代 表 者 名	②教育訓練実施者名 学校法人SBI大学 『代表者名									吉孝)			
住所及び	性 所 及 び 連 絡 先 東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー21階 TEL 03-6229-1175												
施設名称及び	施設長名	SBI	大学院	:大学	!						 (施設長: ¾	事務局長 太	田紀子)
住所及び	連絡先	東京都港	区六本	木1-6	-1 泉	ガーラ	ニンタワ	—21階	<u> </u>		TEL 03-6	229-1175	
苦情受付者	氏名 渡邊 恵里	L L佳 所属	、 大学院	完事務	事	務担	当者	氏名	渡邊	恵里佳	所属 大学院	完事務	
連絡先		03-6229	-1175		通	· 絡	先		TE	EL 03	3-6229-1175		
教育訓練経費	1. 教育	訓練給付	金の対	象とな	- る経費	· (1)	+ ②)				2,500,000	円
支払い方法	①入学					0							
① 一括 払	(※割	科 (祝 引・還元打 の差引き	措置を実									100,000	円
													円
②分割払									第1期 第2期			600,000	円田
(③両方可能)	② 受 講	料(税i	ᇫ額)						第2期 第3期			600,000 600,000	円 円
HE /	(※割	引·還元	措置を実						弗o期 第4期			600,000	n H
	7	の差引き	夜の祝:	必領と	y	C 。)			第5期			300,000	円 円
									第6期				円
										必須	教材費		円)
	2. 教育	訓練給付	金の対	象外と	:なる経	養	1 +	- I				120,00	
	(1)	副読本代	(税込物	頁)									円
		実習等に			官泊費	(税込	額)						円
		施設維持						IT•教	材費	1年次6	60,000円、2年次	60,000円	円
	_	その他()			金、PC	の損	害保険	料、情	報誌代	t) (利	兑込 額)		円
	3. 総額	į (1+2)	(税込	額)								2,620,00	00円